

(抜 粹)

まちづくり^{じっし}実施^{けい}計画^{かく}

ひらかたし^{ゆく} 枚方宿^ちと枚方^く浜^{へん}周辺^ち地区

ひらかたし
枚方市

ひらかたし^{ゆく} 枚方宿^ち地区^くまちづくり^{きょうぎ}協議^{かい}会

平成21年8月

まちづくり実施計画の目標及び計画期間

市町村名	枚方市	地区名	枚方宿と枚方浜周辺地区	事業名	淀川と旧京街道でにぎわう枚方宿のまちづくりプラン
計画期間	平成 20 年度 ~ 平成 23 年度	交付期間	平成 21 年度 ~ 平成 23 年度		

- 目標**
- 大目標 歴史や自然環境を活用し、広域拠点としての都市的な魅力を付加して、世代間や都市間の交流を促進し、枚方の新たな魅力を創るまちづくり
 - 目標① 歴史性、自然性、未来性が重なり合い、調和したまちづくり
 - 目標② 歴史を通じて地域内外の人々が交流する文化のまちづくり
 - 目標③ 住民が愛着と誇りを持って、地域の活性化につなげるまちづくり
 - 目標④ 河川の広がり万年寺山の緑を生かしたゆとりあるまちづくり

目標設定の根拠

歴史的・文化的資源について

- ・枚方市は京都、大阪、奈良に囲まれた中央に位置し、特に枚方宿は、歴史的な特徴として淀川と旧京街道の両方に面した特性を持つ宿場町で、枚方市の中心市街地にある。
- ・京街道は豊田秀吉の築いた文祿堤の上に開かれ、江戸時代には東海道として京・大阪間の主要街道となっており、枚方宿はその東海道57次56番目の宿場町として、また淀川舟運の中継港として栄え、街道沿いには本陣や問屋場のほか旅籠や茶屋が軒を並べていた。
- ・この地域には、「一乗寺」や「浄念寺」、「意賀美神社」など神社仏閣が数多くあり、現存する町家などの歴史的建造物や枚方市の指定有形文化財である「鍵屋資料館」なども含めて、枚方市の歴史と文化の礎を築いている。
- ・これらの歴史的背景から「人とモノが集まる拠点」として賑わい、その後においても枚方市の玄関口として成長してきた。また、段丘崖に残る斜面緑地や万年寺山、淀川や天野川といった河川などもあり、都市機能とあわせ歴史や自然環境にとっても恵まれた地域となっている。

歴史的・文化的資源の活用手法等について

- ・歴史的・文化的資源や自然資源などをネットワーク化し、観光的要素を含んだ交流・交遊空間の環境づくりや魅力的なまちづくりをめざす。
- ・枚方市が主催している「ひらかた菊フェスティバル」にあわせ、枚方宿地区まちづくり協議会が主体となって毎年開催する「街道菊花祭」がある。その中では、「枚方宿ジャズストリート」と題して、地域内の神社仏閣や公園など約10会場でジャズ演奏会を開催し、また、市内の小中学校で育てた菊を街道沿いに並べ、歴史と花や音楽を楽しめるイベントとして展開している。毎年約3万人の来場者で賑わっており、地元住民のまちづくりに対する意識向上や地域外へのPRにもつながっている。
- ・地域内にある空き家を活用し、地域の活性化を図るため、枚方宿地区まちづくり協議会の内部組織として「町家情報バンク部会」を設立している。空き家を貸したい人と借りたい人で結びつけ、店舗や定住者を地域外から呼び込むことで、活気と賑わいを取り戻し、また、建物を修景することで歴史的な街なみの整備を進めている。

将来ビジョン(中長期)と整合について

- ・枚方市駅周辺の都市アメニティゾーンから旧京街道の歴史的な文化ゾーン、水と緑豊かな淀川・万年寺山の自然ゾーン、そして枚方公園のアミューズメントゾーンまでを時間を超えて歩ける快適な空間として整備を進める。
- ・枚方市総合計画において、歴史を大切にしながらまち並みの整備など個性ある地域づくりを進めるとともに、歴史資源などを活用し、集客機能を高めるとされている。
- ・都市計画マスタープランにおいて、広域交流拠点の形成を進めるため、自然環境や歴史文化環境を活かした都市アメニティの形成を進めていくとされている。
- ・枚方市駅周辺整備基本構想において、枚方の都市格を形成し、40万都市の中心としての賑わい、歴史や文化を感じられる回遊性を創出するとされている。

まちづくり実施計画の整備方針等

計画区域の整備方針

・整備方針① 歴史性、自然性、未来性が重なり合い、調和したまちづくり

- ・枚方宿の街道を歴史的でより魅力ある景観にするため、無電柱化や歴史的な景観と調和する照明の整備を行う。(住環境ゾーン、賑わいゾーン、回遊ゾーン、交流ゾーン)
- ・枚方都市圏の玄関口である枚方市駅から街道まで人を誘い、集客を図るためのエントランス空間の整備を行う。
- ・枚方宿と淀川を一望できる万年寺山と枚方八景にある万年寺山緑陰などの周道を情緒ある散策道に整備する。

・整備方針② 歴史を通じて地域内外の人々が交流する文化のまちづくり

- ・枚方宿地区をミュージアム化するため、街道沿いの町家の軒下や壁面に歴史的な写真などを展示したパネルを設置する。
- ・枚方都市圏の玄関口である枚方市駅から街道まで人を誘い、集客を図るためのエントランス空間の整備を行う。
- ・広域観光の玄関口である枚方公園駅から街道まで人を誘い、集客を図るためのエントランス空間の整備を行う。

・整備方針③ 住民が愛着と誇りを持って、地域の活性化につなげるまちづくり

- ・枚方宿地区まちづくり協議会と連携し、地域の賑わいを再生し、また、歴史的街並みを保全するため、空き家や空き地を活用した店舗等への工事費助成を行う。

・整備方針④ 河川の広がりと万年寺山の緑を生かしたゆとりあるまちづくり

- ・枚方宿と淀川を一望できる万年寺山と枚方八景にある万年寺山緑陰などの周道を情緒ある散策道に整備する。

その他

○事業終了後の継続的なまちづくり活動内容

- ・具体的に
- 京阪本線連続立体交差事業の完成など、周辺道路を含めた交通規制の見直しにより、街道の歩行空間の確保とあわせ、市域を超えた歴史街道(旧京街道:伏見宿、淀宿、守口宿)との連続性を模索し、事業展開を進める。**
- 歴史的な街並みを保全するため、地域住民と連携・協働して街並みの形成を進める。
- 地域の活性を維持するため、地域に定着しているイベント(枚方宿ジャズストリート、くらわんか五六市など)を継続し、新たな活性のためのイベント(淀川の舟運)を模索する。**
- 本事業で整備した街並みを高度に維持・保全するため、地域住民や関係機関(電線類管理者等)と行政が協力しあえる体制を模索する。



～まちづくり創出事業全体計画図～ ※整備プランの内容については変更する場合があります。

無電柱化プラン

枚方宿の街道を歴史的でより魅力ある景観にすることで、開放的な歩行空間を築く。

整備内容

— (岡本町、三矢町、堤町、新町 1360m)



町家情報バンク支援プラン

地域の賑わいを再生するため、空き家を活用して店舗等が開店する場合の工事費を助成する。

整備内容

- ・町家等の耐震改修助成
- ・空家、空地を利用して店舗等を整備するのに必要な費用の助成

対象区域：枚方宿地区内



駅の顔賑わい創出プラン

人を誘い集客を図るため枚方公園駅から街道のエントランスまでゲート空間の整備を進める。

整備内容

- 観光案内版・掲示板・誘導サイン等の設置、
- ストリート・ゲート・街路灯等の装飾

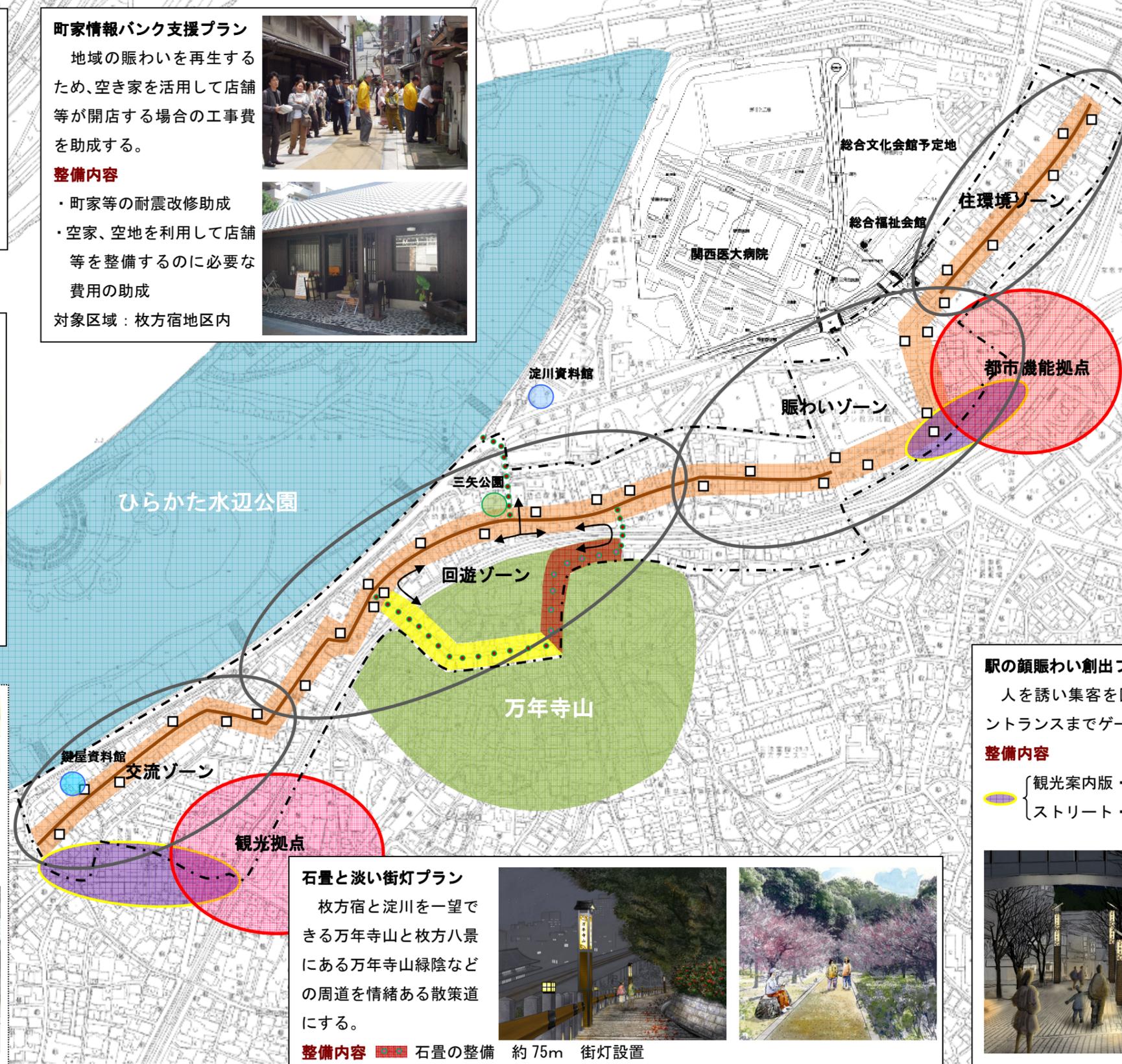


関連事業による整備プラン

本陣跡にふさわしい公園を整備することで、訪れる人々を癒す空間をつくる。淀川を見渡せる万年寺山の周道を情緒ある散策道にする。

整備内容

- 小公園の整備 (820㎡)
- 道路美装化 (900㎡)



まちかど美術館創出プラン

街道沿いの町家の軒下や壁面に歴史的な写真を展示することで、地区全体をミュージアム化する。

整備内容

- パネル (600×900) の設置及び配布、歴史写真の加工



駅の顔賑わい創出プラン

人を誘い集客を図るため枚方市駅から街道のエントランスまでゲート空間の整備を進める。

整備内容

- 観光案内版・掲示板・誘導サイン等の設置、
- ストリート・ゲート・街路灯等の装飾



石畳と淡い街灯プラン

枚方宿と淀川を一望できる万年寺山と枚方八景にある万年寺山緑陰などの周道を情緒ある散策道にする。

整備内容 石畳の整備 約 75m 街灯設置

